

授業科目名	子ども家庭支援の心理学	担当教員名	福井 ふみ子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	保育の対象の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	2年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所の臨床心理相談員として、また幼稚園のキンダーカウンセラーとして、発達等についての相談業務に携わった経験を活かし、理論と実践を結びつけた授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	1.生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 2.家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家族を包括的にとらえる視点を習得する。 3.子育て過程をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 4.子どもの精神保険とその課題について理解する。		
到達目標	1.家族・家庭の意義について理解する 2.少子化社会・情報化社会について理解する 3.支援を必要とするさまざまな家庭について理解する。 4.特別な配慮を要する家庭への支援について理解する。 5.障害のある子どもと保護者への支援について理解する。 6.子どもの精神保健とその課題について理解する。		
テキスト	子ども家庭支援の心理学 編著 安藤朗子・吉澤一弥 アイケイコーぼれーしょん		
参考書・参考資料等	子ども家庭支援の心理学 監修 児童育成協会 中央法規		
成績評価の方法	発表（グループ・事例）：50% 小作文（2回）：20% 理解度・到達度チェック：20% 平常点（授業態度・意欲）：10%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	その時間、担当しているグループの人は、火曜日17：30までに、レジュメを学務室の福井ボックスまで届けて下さい。質問は授業中か授業終了後に教室で受け付けます。オフィスアワーは火曜日16:15-17:45です。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	概論 家族・家庭の意義と機能 離婚家庭やシングルマザー	1.2	
第2回	概論 親子関係、家族関係の発達とその理解	1.2	
第3回	状況 少子化社会と子育て	3	
第4回	状況 情報化社会と子育て	3	
第5回	支援 育児不安を持つ保護者	2.4	
第6回	支援 小さく生まれた子どもと保護者	2.4	
第7回	支援 入院や医療的ケアの必要な子どもと家族 理解度・到達度チェック（30分）	2.4	
第8回	特別な配慮 貧困家庭/親が疾病や障害を抱える家庭	2.3.4	
第9回	特別な配慮 外国にルーツがある過程/子ども虐待の疑いのある家庭	2.3.4	
第10回	特別な配慮 関係機関との連携・協働	2.3.4	
第11回	障害のある子ども 心身の障害/発達過程で明らかになる障害	2.4	
第12回	障害のある子ども 障害のある子どもの子育て/家族への支援	2.4	
第13回	子どもの精神保健 子どもの生育、生活環境	3.4	
第14回	子どもの精神保健 虐待、大災害、発達障害等	3.4	
第15回	まとめ、質疑応答	1.2.3.4	